

京都御苑 歴史 散策マップ

京都御苑歴史散策ツアー

毎週日曜日 午前10時出発
御苑内 閑院宮邸跡集合
(予約不要・無料・雨天決行)

※団体(10名以上)・日曜日以外のご案内
につきましては、1週間前までに都草事務所へ
ご連絡下さい。

電話・FAX (075)451-8146

E-mail info@miyakogusa.com



しきぶちゃん

まろくん

京都御苑一帯は、平安時代には貴族などの邸が置かれ、江戸時代にはおよそ200軒もの公家屋敷が建ち並んでいました。

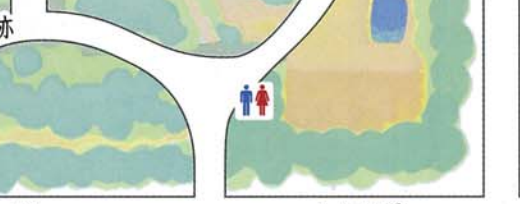
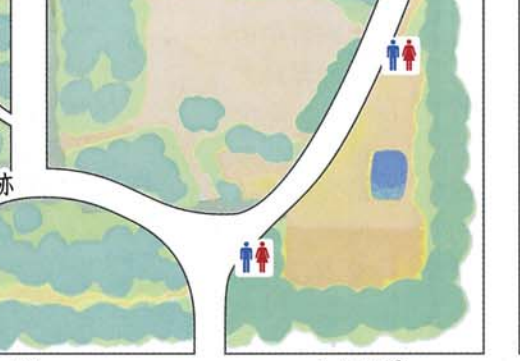
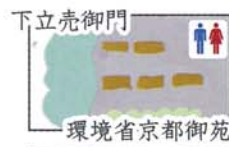
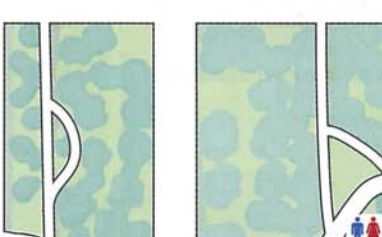
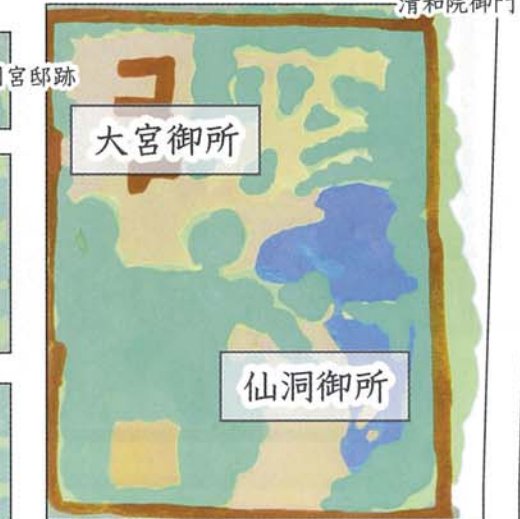
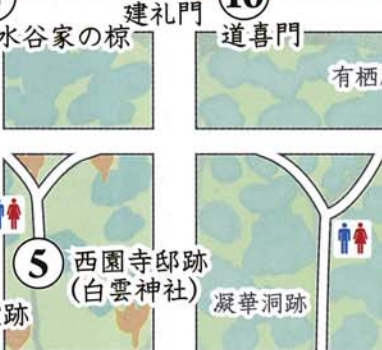
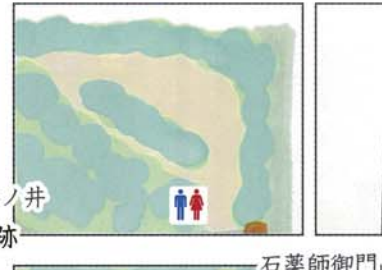
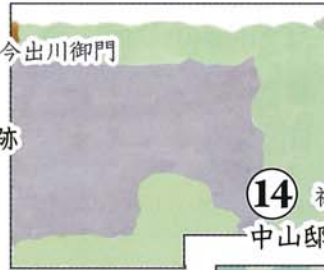
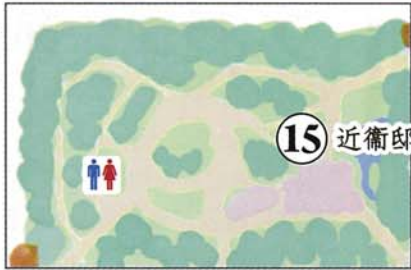
明治2年の東京遷都後、大内保存事業(明治10年から16年)によって、これらの遺構の多くが撤去され、皇室苑地として整備されたのが現在の国民公園京都御苑の始まりです。京都御苑に残る公家町跡は、貴重な歴史的遺産として保護・継承されています。

地下鉄今出川駅

今出川通

鳥丸通

寺町通



地下鉄丸太町駅
市バス鳥丸丸太町

間之町口

堺町御門

丸太町通

京都御苑歴史散策マップ

3 坊

1 閑院宮邸跡

宝永7年(1710)に東山天皇の皇子、直仁親王^{なおひと}を初代として創設されました。創建時の建物は、天明8年(1788)の大火で焼失、その後再建され明治10年に東京に移るまで使用されていました。公家屋敷の佇まいが残る貴重な遺構です。



2 九條邸跡(拾翠亭)



茶室として残っている建物は、拾翠亭と呼ばれ、九條家屋敷の貴重な遺構の一つです。九條池を中心とした美しい庭園は、四季折々の風情を醸しだしてくれます。池の中にある巖島神社は、九條家の邸内社として祀られていました。

御苑周り
高麗門で
いました
の周辺で
ありまし
から繰り

10 道喜門

道喜とは、人の名前が川端道喜のことで、粽で有名なお店です。道喜は、毎朝「お朝物」として、お餅を天皇に献上致しました。この献上は300年以上も続き、建礼門の東に穴門が設けられ、「道喜門」と名付けられました。穴門13ヶ所の内、この門のみに名称が付けられています。



9 建礼門



桧皮葺、切妻造り四脚門で最も格式の高い門です。天皇陛下や国賓が来られた時に開門されます。平清盛の娘は建礼門院と呼ばれました。当時は女院に内裏や大内裏の門名をつける習慣がありました。葵祭や時代祭の行列もこの門前の広場から出発します。

8 清水谷家

この榎の木は、清水谷家のもので、樹齢約300年、幹す。「禁門の変」の時、長



11 学習院跡

学習院は、弘化4年(1847)仁孝天皇の遺志により、公家の子弟の教育機関としてつくられました。明治3年に廃止されますが、その後東京に同名の大学が設立され、当時の扁額がそのまま継承されました。



紫宸殿 (写真提供: 宮内庁京都事務所)

12 橋本家跡



橋本家は皇女和宮の生家です。江戸末期に当主橋本実麗の妹、経子が宮中に入り、誕生したのが、和宮親子内親王です。幕末の公武合体政策により徳川将軍家茂に嫁ぎました。

13 猿ヶ辻

御所の東北は鬼門の為、角御幣を持った木彫りの猿かれています。文久3年進派であった公卿姉小路公知がこの辺で暗殺されました。時に25才の若さでした。



町御門



門の中で唯一南側にある大きな幕末には長州藩が警備をして文久3年(1863)8月18日にこの「七卿落ち」と呼ばれる政変が葵祭や時代祭の行列はこの門を通過します。

4 鷹司邸跡



近衛家から分かれた五摂家の一つで、家名は鷹司室町にあった邸宅に因んでいます。「禁門の変」で、長州藩が同邸に陣取り、九條邸の幕府側と激しい戦闘が行われました。この鷹司邸と長州藩邸が火元になり、ドンドン焼けと呼ばれる大火になりました。

5 西園寺邸跡 (白雲神社)

西園寺家は、琵琶の宗家で、古くより邸内に弁財天を祀る妙音堂がありました。東京に屋敷が移転後も、白雲神社として屋敷の跡地に残されました。明治時代、西園寺公望は二度の首相を務めた政治家です。私塾立命館は、後に立命館大学としてその名を継承されます。



の椋

公卿屋敷にあって約4mの古木で軍の総督であった来島又兵衛が、薩摩軍の攻撃により討死、長州軍は総崩れとなりました。

7 蛤御門

この門は「新在家御門」と呼ばれ、開かずの門でした。江戸時代の大火で初めて開かれたので、焼けて口開く蛤から「蛤御門」と言われるようになりました。元治元年(1864)ここで、長州藩と会津・薩摩藩等とが激しく戦う「禁門の変」が勃発しました。



6 枇杷殿跡



枇杷殿は平安時代に藤原長良が建てた邸宅です。この屋敷に、一条天皇がお住まいの頃は、女流文学の最盛期で、紫式部や清少納言が活躍していた時でもありました。

14 中山邸跡

大納言中山忠能邸跡です。ここで誕生された祐宮は後に明治天皇となります。木造平屋建て21坪程の産屋が現在も残されています。又、敷地内には、明治天皇の幼名に因んだ「祐井」が在ります。



15 近衛邸跡

近衛家は五摂家の一つであり、近衛大路にあったので近衛と名付けられました。この屋敷の糸桜は江戸時代から有名で、御苑の中でもいち早く春のおどずれを告げてくれます。幕末、薩摩藩の篤姫も江戸に嫁ぐ前にこの屋敷を訪れています。

